

Company Profile

株式会社 ハウスランド社

福岡県筑紫野市大字吉木344-1
TEL 092-922-8771
http://www.h-land.jp

●詳しい情報はP180に掲載

カンナで木を削っていく
大工の手仕事が見える家

今回の家づくりを振り返り、奥さまは「社長、建築士の三上さん、設計士の萬田さん、現場監督の石田さんにその都度アドバイスをいただきながら解決策を見出してつくり上げてきたので、完成時の喜びもひとしおでした」とうれしそうに話す。また、大工さんとコミュニケーションを取っていく中で、棟梁が何気なく呟いた言葉がこの家では大事なポイントになったという。そして、何も無い更地から家が完成するまでの過程を数か月間見続けてきたお友達にとつて、今回の家づくりは大きな影響を与えたようだ。「将来、設計士になりたいと子どもが言い始めたんです。多感な時期に家づくりの工程を見せてあげることができたことは、子どもの成長にもつながったのかなとうれしい副産物に驚いています」。



ドロップ型の取っ手がかわいい小窓。ガラスは、奥さまの希望でチェッカーガラスを採用した



キッチンの壁にはスペイン産のタイルを使用。海外のデザインなのに和と溶け込むからスコイ!



玄関のそばにある来客用の和室。ドアの建具や部屋の雰囲気など、まるで料亭のような空間に



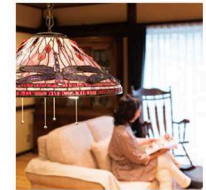
カウンターをあしらったトイレには、クロスではなくあえて塗り壁を採用して美しい空間に。クラシカルな照明と鏡がお気に入り



4畳の広さと階段下のデッドスペースを加えた広いランドリースペース。洗濯物と布団を室内で干せるように、2.5本の物干し竿を付けた



洗面台は、[ハウスランド社]のモデル住宅「風のちの」洗面台をモチーフにした



建具や造り付けの家具は、すべてその家に合わせて造作

戸建て住宅の建築・施工を手掛けると同時に、古民家再生にも力を注いできた「ハウスランド社」。日本の伝統建築である民家に、女性建築士やインテリアコーディネーターのセンスも取り入れた現代古民家へのリノベーションを次々と手がけている。だから、新築と古民家を掛け合わせた、古民家風の「新築の家」も得意。一見、古民家をリノベしたように見えるSさんの家も、実は新築の家。天井や柱は、杉に自然塗料を塗って古民家の持つ風合いを表現し、キッチンに配したステンドグラスの建具は、ガラスの色や細工の形まで奥さまと話し合い、デザインから起こしてつくった。既製品の建具を使わず家に合わせて手づくりしたからこそ、馴染んでいるのだ。

favorite!
わが家のここがお気に入り!

【ダイニングキッチン】
部屋を彩る照明は、奥さまがステンドグラス教室に通っていた頃に自分でつくった思い出の品。茶色のレンガや壁の意と息事に調和している



右、同じデザインのタイルを一面に貼るのではなく、他のデザインも取り入れたタイル選びのセンスに脱帽!
左、パントリーでイスに腰をかける小窓からリビングの様子が見える